

## 2023年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年11月10日

上場会社名	株式会社やまみ	上場取引所	東
コード番号	2820	URL	<a href="https://www.yamami.co.jp">https://www.yamami.co.jp</a>
代表者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)山名 徹	
問合せ先責任者	(役職名)管理本部長	(氏名)六車 祐介	(TEL) 0848 (86) 3788
四半期報告書提出予定日	2022年11月10日	配当支払開始予定日	—
四半期決算補足説明資料作成の有無	: 有		
四半期決算説明会開催の有無	: 無		

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年6月期第1四半期の業績（2022年7月1日～2022年9月30日）

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第1四半期	3,545	8.9	150	△17.0	148	△20.7	105	△14.1
2022年6月期第1四半期	3,254	—	180	276.8	186	194.3	122	171.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第1四半期	15.10	—
2022年6月期第1四半期	17.57	17.56

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期会計期間の期首から適用しております。このため、2022年6月期第1四半期の売上高の対前年同四半期増減率は、記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第1四半期	13,483	7,689	57.0
2022年6月期	13,414	7,685	57.2

(参考) 自己資本 2023年6月期第1四半期 7,689百万円 2022年6月期 7,675百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2023年6月期	—	—	—	—	—
2023年6月期(予想)	—	14.00	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年6月期の業績予想（2022年7月1日～2023年6月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,270	4.8	290	△48.4	295	△48.2	191	△49.2	27.52
通期	14,539	5.3	580	△35.8	590	△34.7	383	△36.8	55.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年6月期1Q	6,967,500株	2022年6月期	6,967,500株
② 期末自己株式数	2023年6月期1Q	205株	2022年6月期	205株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年6月期1Q	6,967,295株	2022年6月期1Q	6,967,295株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスによる行動制限が緩和され、景気は持ち直しの動きがみられましたものの、ロシア・ウクライナ情勢の長期化等の影響や欧米諸国と日本の金融政策の違いなどから為替が円安に進行したことにより、原材料価格およびエネルギー価格の高騰等により、引き続き先行きは不透明な状況となっております。

当社が属します食品製造業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響によってもたされた巣ごもり消費による内食需要が落ち着きを見せてきており、主原料の大豆や油脂、包材などの原材料価格の高騰に加え、都市ガス、電気などのエネルギーコストの上昇もあり厳しい経営環境となりました。

このような状況のもと、当社は全従業員を対象に「改善提案活動」を実施し、毎月優秀な提案には表彰を行い小さなことでも取り上げて全工場でもコスト削減に取り組んでおります。また、各販売先様には、納入価格の改定をお願いし実施させて頂いておりますが、製品製造における急激な仕入れ単価上昇分をすべて転嫁には至っておりません。引き続き省エネルギー・ローコスト運営の推進を図り、経営効率の向上と利益目標の達成に取り組んでまいります。商品構成におきましては、国内産大豆による高付加価値商品への切り替え、特においしさと素材にこだわった「北海道産とよまさり大豆シリーズ」を新たに発売し、商品力の強化と差別化を図っております。

以上の結果、当第1四半期累計期間における業績は、売上高は3,545百万円と前年同期と比べ291百万円(8.9%)の増加となりました。利益につきましては、製造コストの低減や経費の削減などを図ってまいりましたが、営業利益は150百万円と前年同期と比べ△30百万円(△17.0%)の減益、経常利益は148百万円と前年同期と比べ△38百万円(△20.7%)の減益、四半期純利益は105百万円と前年同期と比べ△17百万円(△14.1%)の減益となりました。

なお、当社は単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して69百万円増加し、13,483百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末と比較して222百万円増加し、2,370百万円となりました。これは主に売掛金が157百万円増加したこと等によるものです。

固定資産は、前事業年度末と比較して152百万円減少し、11,113百万円となりました。これは建物及び構築物が63百万円、機械装置及び運搬具が53百万円減少したこと等によるものです。

#### (負債の部)

当第1四半期会計期間末における総負債は、前事業年度末と比較して65百万円増加し、5,794百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末と比較して218百万円増加し、3,035百万円となりました。これは主に短期借入金が200百万円増加したこと等によるものです。

固定負債は、前事業年度末と比較して153百万円減少し、2,758百万円となりました。これは主に長期借入金が145百万円減少したこと等によるものです。

#### (純資産の部)

当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末と比較して4百万円増加し、7,689百万円となりました。これは主に、利益剰余金が14百万円増加したこと等によるものです。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2022年8月9日の「2022年6月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	160,848	183,823
売掛金	1,594,643	1,751,651
商品及び製品	55,703	74,580
原材料及び貯蔵品	282,653	307,317
その他	54,315	52,837
流動資産合計	2,148,165	2,370,210
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,085,971	4,022,383
機械装置及び運搬具(純額)	4,876,938	4,823,637
土地	2,126,946	2,126,946
建設仮勘定	84,670	49,330
その他	24,111	22,684
有形固定資産合計	11,198,637	11,044,981
無形固定資産	8,158	7,317
投資その他の資産	59,277	61,369
固定資産合計	11,266,073	11,113,669
資産合計	13,414,238	13,483,879
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	984,004	1,138,794
短期借入金	200,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	550,858	517,422
未払金	583,405	644,610
未払法人税等	211,051	60,795
賞与引当金	11,170	44,680
その他	276,746	229,318
流動負債合計	2,817,236	3,035,621
固定負債		
長期借入金	2,357,169	2,211,232
リース債務	396,927	390,937
繰延税金負債	116,137	115,791
その他	41,405	40,510
固定負債合計	2,911,638	2,758,472
負債合計	5,728,875	5,794,093

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,245,724	1,245,724
資本剰余金	1,218,724	1,218,724
利益剰余金	5,211,472	5,226,082
自己株式	△443	△443
株主資本合計	7,675,478	7,690,088
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	485	△303
評価・換算差額等合計	485	△303
新株予約権	9,398	—
純資産合計	7,685,363	7,689,785
負債純資産合計	13,414,238	13,483,879

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2021年7月1日 至2021年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自2022年7月1日 至2022年9月30日)
売上高	3,254,284	3,545,526
売上原価	2,583,650	2,883,321
売上総利益	670,633	662,205
販売費及び一般管理費		
荷造運賃	346,061	364,799
広告宣伝費	8,753	8,672
販売手数料	30,315	31,509
給料及び賞与	45,778	45,099
賞与引当金繰入額	2,910	3,600
減価償却費	829	695
その他	55,026	57,708
販売費及び一般管理費合計	489,674	512,084
営業利益	180,958	150,121
営業外収益		
受取利息	0	1
助成金収入	8,667	1,087
自動販売機収入	1,166	1,130
スクラップ売却収入	191	861
その他	637	534
営業外収益合計	10,663	3,615
営業外費用		
支払利息	3,720	5,473
その他	1,107	216
営業外費用合計	4,828	5,689
経常利益	186,793	148,047
特別利益		
新株予約権戻入益	164	9,398
特別利益合計	164	9,398
税引前四半期純利益	186,957	157,445
法人税等	64,532	52,261
四半期純利益	122,425	105,184

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。